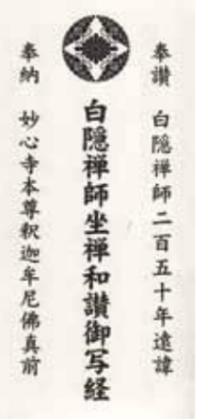


やっています
あつまれ!
写経の日程



第2日曜日と第4土曜日の午後1時半から4時半まで本堂で写経ができます。
都合の良い時間に来て、ご自分のペースで写経して、お好きな時間にお帰りください。ただし、初めての時はなるべく一時半にご参集ください。もちろん、檀家さん以外でも参加できます。お友だちを誘ってお越しください。

【写経】令和三年上半期開催日

7月	6月	5月	4月	3月
11日(日) / 24日(土)	13日(日) / 26日(土)	9日(日) / 22日(土)	11日(日) / 24日(土)	14日(日) / 27日(土)

まだまだ、コロナ禍です
コロナ禍の彼岸は、いつもと通りの法要をして、珍しく住職が十分な法話をしております。
なにもかも中止や延期になり、季節の移ろいが実感できないから、春の訪れを松岩寺の本堂で体感してください。

【日曜の朝の坐禅体験】



やっています
毎週日曜日の朝六時〜七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方には、坐り方をご案内します。三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

やっています
【金つぎ教室】講師 花輪滋實
第四土曜日 午後一時半〜四時半まで

今日は休み
【仏像を彫る会】講師 高野竜生
休会中
【声を出して元気になる】講師 林航
休会中

本堂はすべて椅子席です。椅子を並べる間隔を調整するため、こんなご時世だからこそ、電話・FAX・Eメール等でご出席をお知らせください。

【編集後記】

△お正月のお便りで、童話・桃太郎に関連した十年前の新聞広告、「ボクのおとうさんは、桃太郎というやつに殺されました」を、「さすが。こういう、やわらかい発想をしたい」と、書きました。その後、作家の三田誠広が著書『天気の良い日は小説を書こう』（集英社文庫）で、やはり桃太郎は、「鬼にも妻子がいるとか、相手の立場になって考える。ということをしなさいですね」と言っているのに気づきました。三田誠広の本が出たのは、二十年前だから、新聞広告のコピーよりも古い。福沢諭吉も「桃太郎はけしからん」と書いているから、アンチ桃太郎は昔からおられたわけで、私が知らなかっただけ、という恥ずかしいオチを加えておきます。
△裏面の「伝道掲示板から」の文章で（熊谷直実が京都から鎌倉へ行くときに、西に背をむけまいとして、馬にさかしまに乗ったという逸話から、これも「日想観」ではないか）、と書きました。進行方向に背を向けて西を見続けたわけで、気分は「日想観」でも、旅の途上で直実が実際に馬上から夕陽を見たことは、おそらくないですね。なぜなら、昔の旅は、朝は明ける前に出立して、夕方は陽が暮れる前に、一夜を過ごす場所を確保するのが常道ですから。時代はめぐりますが、「お江戸日本橋七つ立ち」の風景です。
△七つは今でいうと午前四時頃。現在は日本橋の上空には高速道路がある。無粋な高速道路を地下化する工事が始まるらしい。終了は二十先。みなさん元気で、綺麗になった日本橋をみましょう。

墓地管理費のお願いを同封しています。郵便振替で七月末までにお納めください。
なお、三月十七日から二十一日まで、墓地では花と線香を用意しています。

3月17日（水曜日=彼岸入り）から21日（日曜日）まで、朝8時から夕方5時頃まで、墓地では花と線香を用意しております。

